



日々の相談で向き合うのは、
人間関係のもつれが続く職場のこと、
欠員補充ができず時間外労働が増えている現場のこと、
なかなか仕事を覚えられない社員への対応、
精神疾患の診断書を前にした判断——

今回の法改正で「個人の尊厳」という言葉が使命として明記されたことで、私たち社労士が大切にしてきた価値観を後押ししてもらえました。ハラスメントのない快適な職場、健康で安全に働ける環境、仕事と生活の調和、学び成長する機会・・・どれも、働く人が「人としての尊厳」を保ちながら働くための、ごく当たり前の土台です。こうした考え方は、私が目標としているILOの「働きがいのある人間らしい仕事（ディーセントワーク）」にも通じます。

2026 年は、この新しく明文化された使命を胸に、～ 社員一人ひとりが大切にされていると感じ、安心して能力が発揮できる。仕事を通して自分が生かされている喜びを実感できる ～

そんな会社づくりに伴走できる一年にしたいと思います。

2026年1月 水田かほる

